

=発行= 宮古島市立 平良中学校

進路担当:川満洋平

誰かの名言

◆才能には限界がある。 しかし、努力は無限だ。

・ 通して、特に上位入 検査の場合、名句で た申込 た申込 がらの3年間 フ る「実績を証明を選抜の際に必状を保管しているとしている。 人競技の場合、賞状にして提出します。 各 | 家 タを受けとつ に が 庭 技 ジを PDF デー 歴で保管している权の場合、賞状は んどなの 管している 際に必 問や を証明する 要な生徒 1 顧問 ゃ で、 要 寸 及は、 へ相 て ع 場 体 が 特 賞 競 個 資 な 合 タ ひ 験 お 面 し

1 = 1

から各つ 選 Web 上にアップロード 募集要項を確認する ージ上にアップされ することになって がありますが、 スター で 抜 抜を受験する場合 では、基本的 きる実績が 年 は、1 校 から 明する資料 生 ポ | て、 徒 1 1 自 色 ママ いま 1= 特 月 身 特 る 色 提 色 必 頃 が 点 試 進 し

っと 度い徒い検る色てのたか、査生選い く目 業 生徒 [標に向 後の進 ゼ の たようで かどうか 査(プレ 選抜では、この求 います。 努力する 宮古高校 受験 かどうか、 かって 生 路 なは、 レゼン) すが、 廃 を判 生徒 を自ら考え が 昨 止 で 求める生 年 · 度 の 粘り を求め 断し を 今 校 独

た。 ありまし 説 路 先 明 担 日、宮古高校にて、 大きな変更 会 当 が 職 員 催 介けの され が ま 1 入 接

てき とで ゼンを 中 で判断すると言うこ す。 たことを 学 校 通 ~して、 生 昨 年 活 ア で 度 ピ

最 11

13 期

日

۲

後 月

末テスト

が

はっ で が きましたが、 中 学 言 · 校 生 葉」だけで 活 で 頑 面 自 接 張 つ 分 で ル

末テスト

は

3 学期

の

縄

本島

の

県

立

わ

ま の

す。

3

年 生

τ 行 自 め 特 強 卒 アピー りま す。 力 活で な 準 て の が備 き が たこと Ļ す。 頑 か 伝 いまり自分のなり。事前に内容も わる 考 る 張 推 IJ か なと思 や、 言 た 敲 てく 葉 いことを すは 高 らるシ ۲ 校 張 をな 生

> . ر ても の成

もちろ

λ

学

過言

で 決

は

あり

ま

績

が

まると言

テストで、この1 ありません。こ

年 期

ŧ

単

元テスト

ゃ

小テ 3

は

あり

ますが

い」と思っ

て、

画 は

強しま

期

于

ス

スト 期せ つ間 末は期 行に

面

合いをして下さい。 者の りま に向 は、この で十分に っら、 ので、子になり ま けて、 校を す。 す。 つ 思 か Ξ い 供 面 話 ぜ 者 す。 話 ら う 望 は で が出りまりませる た 始 内 ま Web : ŧ さら ん し合いをして τ Web 申 で 容 し上 ほし 県立高校 上 ア る が 一で行わの 11月上 いと思 す。 カウント 入 試 正 げ ま

願い

が 面 始 25

あ 談

家庭

そ談 11

まり

日

か

面

い談

まに

力 旬 れ出た明 入 さか 登ま願 ょ 円年料 は沖縄 と変わらず2 で 古 全 日 県立高校の 島 内 制の の 高 2 3 3 6 5 6 5 校 受

検

なり

の な

入

沖

試

験会場

と保

りまする実質的

する 特に、

生

徒

私

立

が

く家で お願 庭での入力をよろ担任と確認します い します。 す。

本

島

入か

とわ



付

す。

し説

し を受験 ら縄 験 に 請 ず、 ij 抜受験校へ「減免 ち なみ いする場 す 現 の 金 高 で校 特 のに 納か

験校へ入学考査料を納に受験する一般選抜受請書」を提出し、同時 合、 色 特 選 申 色抜

検 場 の ځ 色 検 場 力 合、 験 合 県 に 査 選 特 検 査 に、一 なり 抜は、 般選抜を沖 色選抜を志願 す 査 立 5、一般選抜の立高校へ志願す を面 特色選 ること 志 (宮古高 沖 ま 願 般選 す。 ,縄本 校 接 を、 が で 抜 . |校 | 縄 行うこ 島 の で の す 学 る す 高 る 校 き 本 の 独 ま 特 自 で託

\$

1 あ ば な